

三芳町長

林いさお



未来創造

31の宣言

魅力あふれ
喜びいっぱい
幸せになれる町に

進一歩

さらに一歩を進む

町長に就任させていただいてから、4年間、住民の皆さまと共に三芳町の発展のために全力で取り組んでまいりました。

行財政改革を喫緊の課題としながらも、様々な分野で蒔いた種が芽を出し始めてきています。

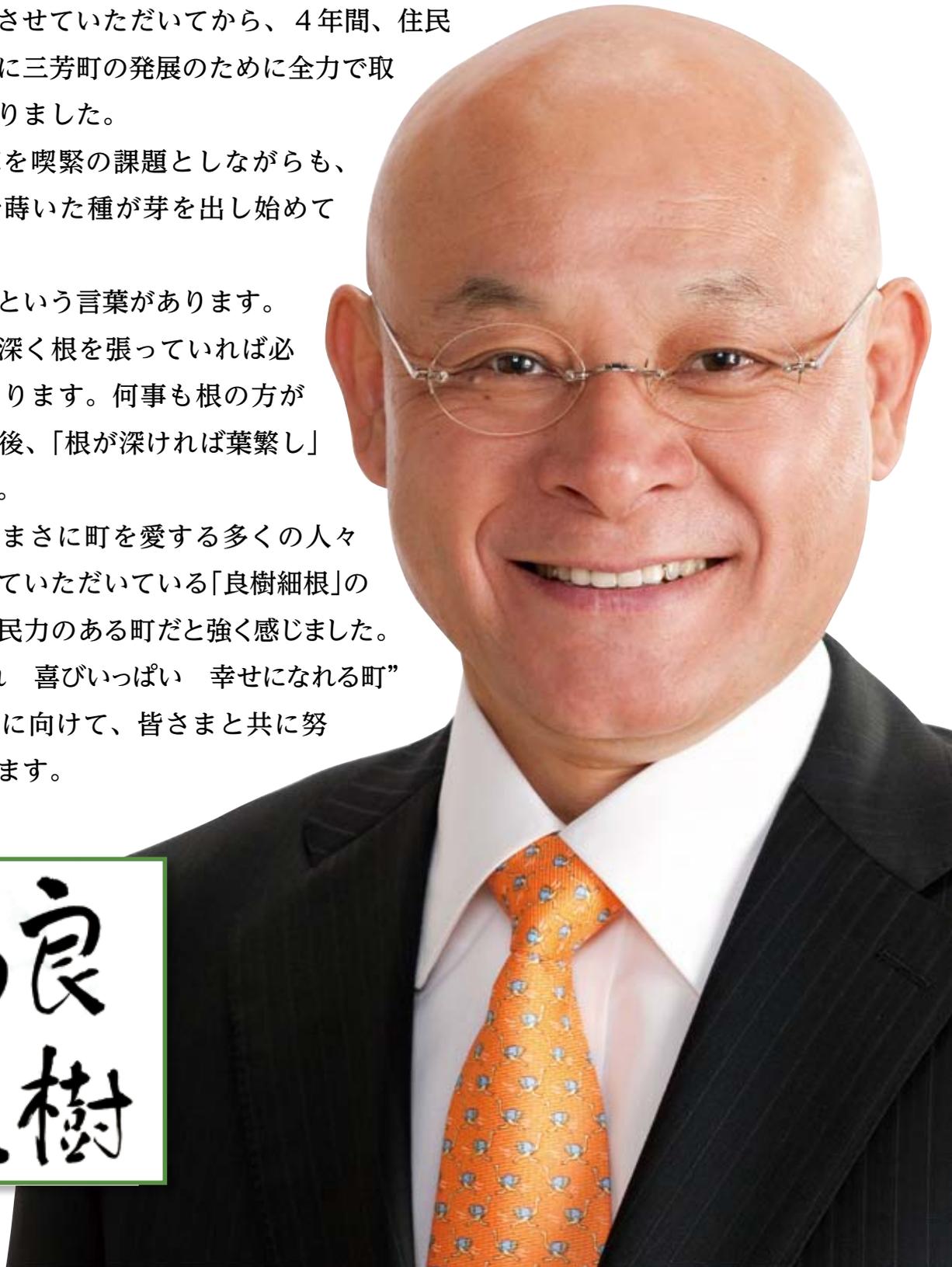
「良樹細根」という言葉があります。

樹木は広く深く根を張っていれば必ずいい木になります。何事も根の方が先で上の方は後、「根が深ければ葉繁し」とも言います。

三芳町は、まさに町を愛する多くの人々によって支えていただいている「良樹細根」の素敵な町、住民力のある町だと強く感じました。

“魅力あふれ 喜びいっぱい 幸せになれる町”
みよしの実現に向けて、皆さまと共に努力してまいります。

良樹
細根



みりよく よろこび しあわせ

未来創造プラン

今から320年前に開拓された三富新田。

美しい景観と文化や生物多様性、伝統的な農法が継承され、国内外から着目され高い評価をいただいています。先人たちの思いを受け継ぎ、後世に何を残していくのか。それが私たちに課せられた使命です。

今、日本は、少子高齢化と東京一極集中が進み、2040年には全国の自治体の半数が消滅する可能性があるといえます。魅力あるまちづくりを進め、住んで良かった、いつまでも住み続けたいまちづくりが、自治体の重要課題となっています。主役は「若者」「女性」「高齢者」であり、それぞれが輝き活躍することが町を元気にします。

「みよし未来創造プラン」のコンセプト、それは、先ず定住人口を増やし、財政を安定化させ、住民参加のまちづくりを進めることだと考えます。

1 「若者、女性、高齢者が活躍できる社会」の実現



情報人口を増やし >>> 交流人口を増やし >>> 定住人口を増やす

- 情報人口** 三芳町に関する情報を流し「知る」
インターネット、パンフレット、マスメディア
- 交流人口** 三芳町に「来る」
観光、通勤・通学、買い物
- 定住人口** 実際に居住する「住む」
いつまでも住み続けたい

人口増と
税収増に

2 財政基盤の強化が持続可能なまちづくりへ

3 『まちづくりの方程式』で未来を創造

よい町を創るには3つの要素が必要です。

それは、足し算ではなく、一つも欠かすことのできない掛け算による『まちづくりの方程式』があると考えます。

良い町は良い政策から

政策

より多くの人の
幸せのために対話を重ね

対話

人

多くの住民の皆様が参画する
住民主役のまちづくり

みよし未来創造プラン = 政策 × 対話 × 人

魅力あふれ 喜びいっぱい 幸せになれる町に

『みよし未来創造プラン』

31

の宣言



魅力あふれる元気なまちづくり

「魅力あふれ」

宣言 1 みよし農業塾を開催します

首都圏の台所を支える全国でも評価の高い三芳農業の技能を学び、自然と共生した「農」ある生活を実現。さらに新規就農者を支援します。

宣言 2 六次産業創業塾を開催します

六次産業創業塾を開催。農産物等の生産・加工・販売を行う人材の育成・支援を行います。



宣言 3 平地林を保全・再生します

世界に誇る三芳町の平地林。都市住民・企業・学校等の多様な参加者によるサポーター制度を導入し、樹木の活用等も含め保全・再生・活用を図っていきます。

宣言 4 新しい公共交通を導入します

住民意識調査では、公共交通を求める声が多くありました。デマンド交通の試行運転結果をもとに新たな公共交通を本格導入します。

宣言 5 スマートICフル化整備を遂行します

企業誘致、企業留置を含め地域経済の活性化など三芳町の「西の玄関口」として関越自動車道三芳PAのスマートICの東京方面乗り入れに向け、広く意見を聞きながら遂行していきます。

宣言 6 (仮)芸術文化のまちづくり条例の制定を目指します

芸術文化は私たちに「生きる力」を与え、人生を豊かにしてくれます。心豊かな三芳独自の芸術文化のまちづくり条例の制定を目指します。

喜びと笑顔のまちづくり

「喜びいっぱい」

宣言 7 オンリーワンの「読書のまちづくり」を目指します

今年、子ども読書活動で文部科学大臣から二度目の表彰を受けました。読書活動を推進し、オンリーワンの「読書のまちづくり」を目指します。

宣言 8 マレーシアへの中学生海外派遣を継続実施します

グローバル化が進む国際社会の中で、国際感覚を持った人材を育成し、アジアの仲間との友好と国際理解を深めるため中学生の海外派遣を継続します。

宣言 9 自然の森、総合スポーツ公園等の整備をします

大きな公園、少年・少女の活動の場としての運動場がほしいという要望に応え、一日憩える「三芳町自然の森・総合スポーツ公園」や「こぶしの里自然公園」また「ドッグラン」の整備をします。

宣言 10 保育所の待機児童ゼロを目指します

第3保育所の改築工事をはじめ、保育所の待機児童ゼロを目指すとともに、すべての子どもの良質な育成環境を整備し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援します。

宣言 11 全小学校にエアコンを設置します

児童の教育環境を整備し、確かな学力をつけるため全小学校にエアコンを設置します。



宣言 12 みよし野菜による食育を推進します

新たな学校給食センターの竣工を契機として、みよし野菜を使用した食育推進事業を実施します。

幸せと共助の まちづくり

「幸せになれる町に」

宣言 13 高齢者にやさしいまちづくりを推進します

高齢社会を迎え、お年寄りがまちづくりに参画し、いつまでも元気でいられる社会を作ることが重要な課題です。「高齢者にやさしいまちづくり懇談会」を中心に高齢者福祉政策を推進していきます。

宣言 14 ふれあいセンター事業を継続します

高齢者福祉政策として永年にわたり利用されてきた「ふれあいセンター」は耐震診断の結果『要補強』でしたが、ふれあいセンター事業は継続します。

宣言 15 障がい者との共生社会を目指します

障がいは個々人の個性や特性であって、そのことによって差別があってははいけません。障がいを知り、共に生きていく共生社会の実現のために「あいサポート運動」を推進します。

宣言 16 手話言語条例を制定します

障害者の権利に関する条約では、手話は言語とされています。ろう者の人権が尊重され、ろう者とうろ者以外の人々が互いを理解し、共生する社会を築くための条例を制定します。

宣言 17 障がい者緊急対応支援システムを導入します

コミュニケーションに障がいがある方が日常生活の様々なシーン、特に緊急時の連絡等で意思疎通に活用できるタブレット型端末を導入し、支援します。

宣言 18 健康長寿プログラムを実施します

超高齢社会を迎え、いつまでも健康でいられる社会の実現を目指し、三芳町健康づくり推進条例に基づき「健康づくり推進計画」を策定し、健康長寿施策に取り組んでいきます。

宣言 19 地区社協とともに福祉的課題に取り組みます

少子高齢化が進み、社会的課題が複雑化、多様化している中で、地域の課題をともに考え、それぞれができることをするという共助の仕組みが重要です。地区社協とともに地域の福祉的な課題に取り組みます。

未来の安心・安全の まちづくり

「未来に向かって」

宣言 20 鶴瀬駅西通り線を全面開通させます

富士塚土地区画整理事業を推進し、鶴瀬駅から川越街道までの鶴瀬駅西通り線を全面開通させます。

宣言 21 地域防災力の向上を支援します

減災・防災体制を強固なものとするため、自主防災組織の設立を支援するとともに、地域連携避難訓練を継続・発展させ、地域防災力を高めます。

宣言 22 藤久保地域拠点ゾーンのまちづくり構想を策定します

藤久保拠点地域の各施設が老朽化し、藤久保地域内の区画整理事業が進行する中で、藤久保地域拠点ゾーンの将来構想を策定します。

宣言 23 遠隔自治体と災害時相互応援協定を進めます

大規模災害時における広域的な応援・受援体制を構築すべく、遠隔自治体との新たな防災協定を進めます。

宣言 24 安心安全の都市基盤整備を進めます

交通事故のない安心安全な道路整備と区画整理事業を促進し、快適な都市環境を作ります。



宣言 25 再生可能エネルギーを推進します

公共施設を利用した太陽光発電システムを導入し、再生可能エネルギーの推進に向けて調査研究します。

住民力の まちづくり

「人の和を大切に」

宣言 26 住民の皆さんとの対話を重視します

まちづくり懇話会、出前町長室、町長の事業所訪問など「対話」を重視します。広く意見をお聞きし、政策立案に活かしていきます。



宣言 27 「財政白書」を作成し、財政状況を共有します

住民の皆さんと「財政白書パート2」を作成し、厳しい財政状況を共有すると同時に、ともに財政計画を考えていきます。

宣言 28 第5次総合計画を策定します

総合計画は三芳町の未来の道しるべ。平成28年からスタートする第5次のまちづくりのビジョンを住民の皆さんとともに作っていきます。

宣言 29 女性の視点をまちづくりに活かします

各種審議会や職場における管理職の積極的登用など、政策立案や方針決定の場に女性の参画を進めます。

宣言 30 ふるさと納税によるシティプロモーションを推進します

歳入増加とシティプロモーションの一環として、特色あるまちづくりを進めるため、贈呈品を提供するふるさと納税制度を開始します。

宣言 31 ふるさと民間大使により町の情報を発信します

ふるさと民間大使を募り、FacebookやLINEの活用により町の魅力や情報を広く発信します。



- 昭和32年10月生まれ
- 三芳小学校、三芳中学校を経て県立松山高等学校、國學院大學文学部、同大学院文学研究科修士修了。三芳町役場職員を経て、神明社宮司、サツマイモのはやし園へ。
- 趣味・・・読書、音楽鑑賞、サイクリング
- 好きな言葉・・・念ずれば 花ひらく(坂村真民)
- 尊敬する人・・・坂本龍馬、二宮金次郎
- 主な経歴・・・2007年、三芳町議トップ当選(2484票)
2010年三芳町長当選、入間東部地区衛生組合管理者
その他、三芳町消防団団長、東入間青年会議所理事長、
日本青年会議所理事、NPO法人国境なき奉仕団理事
- 今でも継続しています～対話と説明責任を大切に
 - ①駅立ち 440日
 - ②会報『林いさお通信』116号

-
- HP > <http://www.isao.bz/>
 - ブログ > ピカイチさんの『雨ニモマケズ』
<http://pikaichino.exblog.jp/>
 - facebook > <https://www.facebook.com/isao.hayashi.792>

林いさお後援会事務所

〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町上富1003
TEL 049(257)5467

林いさお通信 116号 『未来創造31の宣言』

